

情報教育部から

小学校にパソコンが導入され20年が経過しました。その間、ICT(情報通信技術)機器の進歩にはめざましいものがあります。私たち大人が普段の生活において接する情報量も年々多くなり、現在は、豊かな情報の中から必要な情報を選択する時代だといわれます。

また大人社会では、スマホやケータイは欠かせないアイテムになっています。それらを使った SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)には、フェイスブックやツイッター、LINE(ライン)などがあり、インターネット上でコミュニケーションをする場や手段を提供しています。私たちの日常生活にかかせなくなってきたケータイですが、その普及に伴いネットトラブルやネットいじめ、裏サイトや出会い系サイトなどの問題もよく耳にします。

また中高生のスマホやケータイの利用率も高くなっています。小学校でも高学年になるにつれケータイの所持率が高くなってきています。ある調査によると小学校6年生の7割弱がケータイを利用してインターネットにアクセスできる状況にあるといわれています。その中の何割かがこれらのSNSを利用していると考えられます。そしてそれに伴うネット上のトラブルの増加が心配されています。

このような状況の下、情報モラル教育の必要性が明確になってきているといえます。学校でも指導していますが、ご家庭でも、このことについて親子でぜひ話し合ってください。「ケータイ&スマホ、正しく利用できていますか?」(小中学生版)(2016年版)というパンフレットが文部科学省から出されています。下記のサイトから見るができます。ご参考にしてください。



http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taisaku/taisaku2016/1367568.htm

基礎学力部から

本校では、基礎学力部が中心となって、基礎的な学力を自ら獲得して考えることができる子どもを育てることを目標に、様々な取り組みを進めています。例えば児童個々の苦手な学習をサポートする補充学習等を行い、学力定着を目指す取り組みもその一つです。

・「のびっ子タイム」・・・月・火・木・金の13:30~13:45の15分間、全学級一斉に復習問題を中心に取り組んでいます。

・「放課後のびっ子」・・・毎週月曜日(低学年)と金曜日(高学年)の放課後、各学級で子どもたちが苦手と感じている部分の補充学習に取り組んでいます。

またその他、子どもたちに自ら課題や目標を持って学習に取り組む力が育ってほしいと考え、「自主学習」にも取り組むよう各学級で指導しています。ご家庭でも、ご理解ご協力よろしくお願いします。

